

(令和8年5月9日、10日、11日、12日、13日開催分)

第 16 回 議 会 報 告 会「あなたの声をお聴かせください」

- 1 市政に関する御意見に対する議会（委員会）の回答
- 2 会場にて回答済み及び各委員会にて把握しておくとした御意見

会場	班	班 長	班 員（議席順）
上浦地域コミュニティセンター	1 班	大野 達也	佐藤 元 高司 政文 塩月 将登 染矢 和陽 河野 和史 富松 万平
青山地域コミュニティセンター			
佐伯東地域コミュニティセンター			
大入島地域コミュニティセンター	2 班	西條 隆洋	三浦 渉 大崎 栄治 脇坂 豊 廣津留龍二 池澤 益彦 梶川 善寛
本匠地域コミュニティセンター西分館			
宇目地域コミュニティセンター			
西上浦地域コミュニティセンター	3 班	井上 清三	河原 勝也 本田 房代 後藤 勇人 本杉 貴志 吉良 栄三 森川 寿子
米水津地域コミュニティセンター			
木立地域コミュニティセンター			

大分県佐伯市議会

(令和8年5月9日、10日、11日、12日、13日開催分)

第 16 回 議 会 報 告 会「あなたの声をお聴かせください」

1 市政に関する御意見に対する議会（委員会）の回答

会場	班	ページ	班 長	班 員（議席順）
上浦地域コミュニティセンター	1 班	1	大野 達也	佐藤 元 高司 政文 塩月 将登 染矢 和陽 河野 和史 富松 万平
青山地域コミュニティセンター				
佐伯東地域コミュニティセンター				
大入島地域コミュニティセンター	2 班	2～4	西條 隆洋	三浦 渉 大崎 栄治 脇坂 豊 廣津留龍二 池澤 益彦 梶川 善寛
本匠地域コミュニティセンター西分館				
宇目地域コミュニティセンター				
西上浦地域コミュニティセンター	3 班	4～6	井上 清三	河原 勝也 本田 房代 後藤 勇人 本杉 貴志 吉良 栄三 森川 寿子
米水津地域コミュニティセンター				
木立地域コミュニティセンター				

大分県佐伯市議会

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会(委員会)の回答	委員会等
1	1班	上浦	【バス停について】 南海医療センターと佐伯中央病院付近のバス停には屋根がなく、ベンチも壊れている。過去には通院患者がバス停で熱中症で倒れた例もあるので、屋根や安心して座れるベンチを設置していただきたい。また、佐伯駅の駅側のバス停も屋根やベンチを整備するか、駅構内に移設するなどの対応をしてほしい。	要望があったことを執行部に申し伝えました。	建設経済
2	1班	上浦	【固定資産税について】 建物の固定資産税について、田舎でも一定の税額がかかっている。固定資産評価のときに実勢価格や路線価を加味するなどしないとおかしいと思う。	執行部に確認したところ、「御指摘の「実勢価格」や「路線価」は、主に土地の価値を反映する指標となります。固定資産税における家屋の評価は、総務大臣が定めた全国一律の「固定資産評価基準」に基づいて行われ、実際の建築費や購入価格(実勢価格)ではなく、「評価の対象となった家屋と同一のものを、その場所に新築する場合に必要とされる建築費」(再建築価格)を基準に計算することとされています。したがって、構造、床面積、建築資材等が同じであれば、建っている場所に関係なく家屋の固定資産税評価額は同様に算出されます。」とのことでした。	教育民生
3	1班	青山	【作業道の生コン支給について】 作業道(林道)に現物支給で生コンをいただいているが、年々予算が削られ、いつまで経っても災害がなくなるような状況にならない。	執行部に確認したところ、当初予算額は、令和6年度が4,000万円、令和7年度が4,400万円、令和8年度が4,600万円となっており、年々増額されていました。次に、執行状況については、令和6年度が109件で1件当たり14㎡、令和7年度が108件で1件当たり13㎡とのことでした。 さらに、執行部から作業道整備用コンクリートについては、予算の増額や増量を求める声が多いことから、生コンクリート価格の動向も踏まえ、本年度を上回る予算の確保に努めていくとの考えが示されました。	建設経済
4	1班	青山	【看護師の奨学金返還支援について】 娘が市から奨学金を受けて助産師学校に行っていた。それからずっと働きながら奨学金を返還している。今は佐伯市で看護師をしており、返還を少し補助してもらえないか相談したが、要件に合わないとのことであった。せっかく佐伯市に戻ってきて働いているのに、少し緩和していただけないのか。	奨学金返還支援について要望があったことを執行部に申し伝えました。	教育民生
5	1班	青山	【部活動の地域展開について】 学校部活動の地域展開について、大会に部活動として出なのか、地域クラブとして出なのか、両方が出たい場合は二重登録など家庭に負担がかかっているが、教育委員会に相談してもなかなかいい返事がもらえないので、サポートしていただける案があれば教えてほしい。	執行部に確認したところ、「各種大会への参加に当たっては、各主催者が定めるエントリーの規定や手順に従う必要があります。その上で、教職員が指導者となる部活動、地域の方が指導者となる地域クラブのいずれで登録を行うかについては、各自の意向を踏まえて判断していただくこととなります。地域クラブの立ち上げが進み、大会参加の手続等に戸惑われる場面もあるかと思います。教育委員会としても、御相談をいただいた際には、情報収集を行うなど、皆様と連携して取り組んでまいりたいと考えております。」とのことでした。	教育民生
6	1班	佐伯東	【217号バイパス沿い振動、中村北町の道路陥没について】 217号バイパス沿いに住んでいるが、暗渠が道路を横切っているところで大変な車の振動が家に伝わる。この地域に振動計のようなものを置く、あるいは住民にアンケートを取ることはできないか。中村北町で道路の陥没の可能性もある。下水も崩れ落ちそうなところもあるのではないかな。	意見を踏まえて対応を検討するよう、執行部に申し伝えました。	建設経済

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会(委員会)の回答	委員会等
7	2班	大入島	【市有財産の活用について】 旧大入島幼稚園の跡地で日用雑貨品を販売するため貸してほしいという話があったが、教育財産のため営利目的での貸出しはできないと市の回答があった。貸出しや建物の販売など活用できるようにしてほしい。また、電気も水道もトイレも使えない状況のため整備をした上で活用できるようにしてほしい。 中学校の体育館は建物が古く、これまで祭りで借りてきたが、今回借りることができなかった。	市有財産の活用についてはいただいた御意見を踏まえて対応を検討するよう申し伝えました。	総務
8	2班	大入島	【漂着ごみについて】 風が来るたびに、荒網代東の港の中にごみが流れてきて困っている。水産課に、早く取り来てくれと言うが、予算の関係上と言われる。毎年のことなのに毎年予算の関係と言われる。	要望があったことを執行部に申し伝えました。	建設経済
9	2班	大入島	【フェリー・定期船について】 フェリー、定期便の運航は今後どうなる見通しなのか。補助航路や市営になるのか。仮に補助航路になったときに、一つに統合するのかなど、今の状態からどういうふうに変わっていくか教えてほしい。	執行部に確認したところ、今後は民間経営による国庫補助航路化を目指しており、関係機関との協議を進め、今年度中に航路改善協議会(準備会)を設立する予定とのことです。 また、補助航路の統合については、フェリーと定期便のそれぞれの運航形態を維持しながら国庫補助航路化を目指す方針とのことでした。今後の具体的な内容は、国を含む関係機関との協議の中で決定される旨の説明がありました。 引き続き、委員会としても状況を注視してまいります。	建設経済
10	2班	大入島	【夜の定期船について】 佐伯に働きに出ている人の残業する時間に合わせて夜の定期便を運行している。乗る人も少なく、市からも多少援助頂いているが予算も限度が決まっており大変な状況。	執行部に確認したところ、現在900円の運賃に対し、200円の補助を行っているとのことでした。当初は1日10人の利用を見込んでいたが、現在は1日5人程度に減少しており、その要因として島外への転出者の増加が挙げられました。 今後については、令和7年度から令和9年度まで補助を継続する予定で、補助額は3年間で段階的に見直す方針であり、具体的には、令和7年度は300円、令和8年度は200円、令和9年度は100円を補助する計画とのことでした。 これに対し、委員から島民が減少する中でひとりひとりの負担が増していることを踏まえ、補助の在り方について十分に検討してほしい旨を執行部に伝えました。	建設経済
11	2班	大入島	【市道の認定について】 彦神社につながる道について、私有地はみんな出すことになっているので市道への変更してほしい。区長から市議会へその旨を出している。	意見があったことは、執行部に申し伝えました。	建設経済

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会(委員会)の回答	委員会等
12	2班	大入島	【植栽について】 紅葉等の秋にきれいになるようなものを植えていく運動したらどうか。	植栽について要望があったことを執行部に申し伝えました。	教育民生
13	2班	宇目	【林野火災について】 実際に林野火災が起きた場合どうするんだという具体的な例は皆さんで検討しているか。	林野火災が発生した場合は、人命を最優先にしながら、火災の拡大防止、関係機関との連携、長期化を見据えた交代要員の確保等を考慮し活動を行います。消防本部の体制で消火困難な場合は、防災航空隊にヘリコプターでの空中消火の要請、県内消防本部による相互応援、自衛隊の災害派遣等により対応するようしています。 また、消防団や地域住民への連絡については、防災無線や市民メールにより通知し、避難については、消防団とも協力し実施します。 林野火災を想定した訓練については、消防署単独での訓練は実施していますが、消防団と連携した実践的な訓練については近年実施できていない状況。林野火災では、消防署と消防団の連携が極めて重要であることから、今後は、消防団と連携したポンプ中継訓練を始めとする実践的な合同訓練を計画的に実施し、連携体制の強化と対応能力の向上を図っていきたいと考えているとのこと。	総務
14	2班	宇目	【大規模火災時の給水場所について】 宇目地域で大規模火災が起きたときに北川ダムとかしかヘリで水をくむ場はない。また、県や隣接する県にも働きかけて、利便性に富んだヘリポート等の整備していくべき。	執行部に確認したところ、傾山を基準としたときに5～7分圏内に6か所のダムがある。また、番匠川や豊後大野市の河川を活用する予定。ヘリポート等の整備については、現在、宇目地区には場外離発着場が2か所あり、ヘリの給水はもとより、救急患者の搬送も可能となっているため、現在のところ、消防でのヘリポート等の整備については、考えていないとのこと。	総務
15	2班	宇目	【火災警報の注意喚起について】 林野火災警報について、市内の防災無線で注意喚起をもう月に数回なりしたほうがいいんじゃないかなと思う。	林野火災警報の制度周知に力を入れていただくよう申し伝えました。	総務
16	2班	宇目	【農業の振興について】 用水路の改修では受益者負担と現状回復という課題があるために若い人が農業を引き継いでいきにくくなっている。 また、食味コンクールで1位を取った宇目のお米をブランド化して、全国に売出したい。	要望があったことを執行部に申し伝えました。	建設経済

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会(委員会)の回答	委員会等
17	2班	宇目	【藤河内溪谷周辺の道路整備について】 要望や困り事を、執行部に伝えるだけでなく、本当にこれをというのを取上げて議会からの強い形の要請にする必要があるんじゃないか。 宇目で言えば、藤河内溪谷は、進入路は崖崩れがあって非常に狭くて離合もなかなかという状態で、駐車場も5台か10台分ぐらいしかない。	要望があったことを執行部に申し伝えました。	建設経済
18	2班	宇目	【宇目米のブランド化について】 宇目地域はユネスコに指定されて、これは四つの効果があってそのうちの一つがブランド化。ぜひ担当課に宇目米のブランド化の意見を届けてもらって真剣に取り組んでもらいたい。ユネスコの効果が何にも出てない。	要望があったことを執行部に申し伝えました。	建設経済
19	2班	宇目	【成年後見制度について】 成年後見に対して首長市区町村長が申請をするという制度でトラブルとなっている事例が佐伯市にある。本人の事情は全然知らないまま運用がなされているということは、ますます問題になってくる。 成年後見制度利用支援事業実施要綱の中に、どのような場合に、市区市町が申請、申請をするという具体的な事由も入っておらず、家族とかの事情聴取をするということも入ってない。これが入れないと恐らくこれから勝手にやられたということで、人権侵害みたいなことが起きる、担当課に事情を聞いて調査していただきたい。	執行部に確認したところ、「市が審判の申立てを行う対象者の要件については、「佐伯市成年後見制度利用支援事業実施要綱」に規定されており、具体的には「配偶者及び2親等内の親族がいないこと」などとされています。また、この規定にかかわらず、3親等又は4親等の親族など、審判の申立てをする方の存在が明らかであるときは、市は審判の申立てを行わないことも定められていることから、それらを確認した上で進めています。個別ケースの取扱いについては、個人情報保護と人権尊重を最優先に、適切な手続と調整を実施しています。」とのことでした。	教育民生
20	3班	西上浦	【避難所について】 市報の中に避難所の一覧があったが、津波の時に指定避難所がない。避難所については、八幡地区に一時的に逃げてその後弥生地区に逃げる話があったが、食料の備蓄を3日間を1週間の話があってから止まっている。	執行部に確認したところ、大規模地震及び津波発生後、ガレキ等が除去された道路を利用し行くことが可能な地域で、安全が確認された指定避難所やその他の建物などが避難所になると考えている。また、市外への広域避難も選択の一つになるとも考えている。 令和8年1月20日に西上浦コミュニティセンターで開催した説明会において、孤立集落対策として、備蓄食糧については、3日分から1週間分へ備蓄の強化を図るため、R7年度～9年度の3年間限定で自主防災会などへの補助率を1/2から3/4に変更し助成を行っていることを説明したとのことです。	総務
21	3班	西上浦	【彦陽中学校の井戸について】 彦陽中学校に古い井戸が発見されて上田前議員が手押しの井戸ポンプを付けて欲しいと言いつけていた。お金がないのも分かるがスフィア基準や生活用水としても、是非考えてもらいたい。	実際に利活用する地域の自主防災会等が備蓄資機材として手押しポンプ等の給水装置を購入することについては補助(補助率:3/4上限額:世帯数により変動)の対象となります。	総務

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会(委員会)の回答	委員会等
22	3班	西上浦	【五丁の市への補助金について】 五丁の市で佐伯の魚をアピールするため、現行の補助金では、「食べ物提供不可」規定でそれを見直してブリのつかみ取りや伊勢エビ釣りなど食材を使った体験・提供を例外的に許可し、市の補助を付けて地域PRとふるさと納税の拡大につなげることを要望する。	執行部に確認したところ、八幡五丁の市事業については、佐伯創生推進総合対策事業(地域が輝くにぎわい創出事業)により補助金を交付しているとのことでした。イベント時のスタッフ用弁当などは補助対象外としているが、地域の特産品や農林水産物加工品などをPRするため、無償で提供する食材に係る経費(食糧費)は補助対象としているとの説明がありました。また、補助金には支出科目ごとに上限額があるため、イベントを計画する際に疑問点などがあれば、地域振興課へ気軽に相談してほしいとの説明がありました。 これに対し、委員から関係者に誤った認識を持たれないよう、丁寧な周知とフォローを行ってほしいと意見を伝えました。	建設経済
23	3班	西上浦	【高齢者教室について】 高齢者教室の研修に係るバスの利用補助について、県境による一律制限は距離や負担金の不合理を生むため、佐伯市を中心とした距離基準等の柔軟な運用に改め、高齢者の参加促進と予防的な健康維持の効果を見据えて調査、改善を求める。	高齢者教室について要望があったことを執行部に申し伝えました。	教育民生
24	3班	米水津	【交通安全指導隊員について】 交通安全指導隊員がかなり少なく、若い人がいない。1年間指導員をやって年間6万円。それではなり手がいないと思う。交通指導隊員や民生委員などボランティアはかなり少ない。市役所を退職した人になってもらうことも何かの機会で話をしたこともある。そういうことも考えていただきたい。	執行部に確認したところ、隊員確保については、現状では、分隊ごとに隊員補充についての基準があり、その基準により各分隊で確保している状況。今後は、分隊ごとの隊員補充の基準と要綱の整合性に加えて、業務量(活動回数)の相違等を含めた協議を経た上で隊員確保に取り組み、併せて職員OB等の活用についても検討を行い、本市の交通安全の保持に努めるとのことです。	総務
25	3班	木立	【移動支援について】 移動支援について、コミュニティバスは結構予算をかけて運行しているが運行実績として効率よく運営できているという実感はあるか。地区民からは、コミュニティ協議会などは、県費などの支援がある。例えば車両を地区に渡したり、車両の扱いをできる職員を置いてもらった方が、柔軟に対応できるんじゃないかと思う。昼間に病院へ行きたいと思ってわざわざバスは呼べない。そのときに地域に車両があったりするともっと柔軟に使えたりすると思う。大きいバスの便数を減らして、小さい車両で回すなどの取組を議員と一緒に考えていければと思うので、よろしく願いたい。	執行部に確認したところ、現行のコミュニティバスの運営については、全国的な課題である運転手不足をはじめ、限られた予算や車両の中で運行を行っているものの、交通空白地が残っていることや利用者数の少ない路線の取扱いなど、多くの課題があるとのことでした。あわせて、利用者の利便性向上の観点から、運行の見直しが必要であるとの認識が示されました。 また、今後の運営については、利用者数の少ない路線について、路線の統廃合や車両の小型化への移行、定時定路線型からデマンド型への変更を検討して、利便性の向上に取り組む必要がある。課題として、コミュニティバスの運行は、国への申請と許可が必要で、運行計画に沿った運行を求められるなど制約が多く、個人ごとの利用者の都合に合わせた柔軟な運行ができないのが実情とのことでした。 最後に移動支援の課題解消に向けた取り組みとして、地域の住民が運転手の担い手となり、住民同士が支え合いながら移動が困難な高齢者の買い物や通院を支援する「ささえあい交通」の導入ができないか検討しているとの説明がありました。 引き続き、委員会としても状況を注視してまいります。	建設経済
26	3班	木立	【浄化槽の管理について】 直川の向船場地区は、43戸中33戸が市営住宅である。市営の住宅内に区費を払わない人がいるが、区費は強制ではないので黙認している。浄化槽の管理組合も組織して徴収しているがこれが未納となっている。前任者が市にも要望書を出しているがうまくいかない。こういうことが発生している。他の弥生深田地区では、上下水道と一緒に下水道処理費として市の徴収に変更にぜひお願いしたい。	要望があったことを執行部に申し伝えました。	建設経済

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会(委員会)の回答	委員会等
27	3班	木立	【三の丸整備について】 村上勇さんの像や種田山頭火に関するものなど、周辺には多くの史跡や案内板があるが、現在は文字が見えにくくなっているものも多く見受けられる。こうした案内板等については、見やすいように整備・更新していくのか。	三の丸整備について要望があったことを執行部に申し伝えました。	教育民生
28	3班	木立	【木立小学校エレベーターについて】 木立小学校の建設時には、行政からの提案によりエレベーターが設置されたにもかかわらず、厳しい財政状況を理由に教育委員会予算が削減され、その結果、エレベーターが停止され、PTAや地元にも知らせしていない。また、その決定については、教育長が校長会において決定事項として説明されたと聞いている。市民目線をより広く持ち、特に支援を必要とする方々の存在を真剣に受け止めてほしい。	執行部に確認したところ、「小中学校のエレベーターは、現在15校に設置されています。令和2年度までは、全てのエレベーターを使用可能としていましたが、令和3年度以降は、全校のエレベーターを停止しています。ただし、足の不自由な児童・生徒等支援が必要な場合は、稼働する事としており、今後も適宜対応してまいります。」とのことでした。	教育民生

(令和7年11月8日、10日、11日、12日、14日、15日開催分)

第 16 回 議 会 報 告 会「あなたの声をお聴かせください」

2 会場にて回答済み及び各委員会にて御意見として把握しておくとした案件

会場	班	ページ	班 長	班 員（議席順）
上浦地域コミュニティセンター	1 班	1～5	大野 達也	佐藤 元 高司 政文 塩月 将登 染矢 和陽 河野 和史 富松 万平
青山地域コミュニティセンター				
佐伯東地域コミュニティセンター				
大入島地域コミュニティセンター	2 班	5～9	西條 隆洋	三浦 渉 大崎 栄治 脇坂 豊 廣津留龍二 池澤 益彦 梶川 善寛
本匠地域コミュニティセンター西分館				
宇目地域コミュニティセンター				
西上浦地域コミュニティセンター	3 班	9～13	井上 清三	河原 勝也 本田 房代 後藤 勇人 本杉 貴志 吉良 栄三 森川 寿子
米水津地域コミュニティセンター				
木立地域コミュニティセンター				

大分県佐伯市議会

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
1	1班	上浦	【佐伯サテライトオフィスについて】 佐伯サテライトオフィスの無償貸付により、佐伯市にどのようなメリットがあるのか。	今一番の問題は人口減少及び少子化だと考えている。その中で、活用できていない施設を無償で貸し付けてでも企業に来てもらい、働く場所、雇用を創出することが最大のメリットだと考えている。
2	1班	上浦	【企業誘致について】 昔から佐伯市には大きな企業が来ない。小さな企業でも入ってくればよいと思う。上浦や旧南部はこどもも人口も減り、高齢者の一人暮らしが多く、地域を運営するのが大変な状況であるが、議会としてどう取り組むのか。	企業誘致調査特別委員会を立ち上げ、調査研究を進めている。 令和6年度に政策研究会において人口減少対策の提言を作成している。
3	1班	上浦	【少子高齢化について】 少子高齢化が進み地域は衰退している。議員には地域の代表として、地域のためになる政策を組んでもらい、こどもたちの将来を考えてもらいたい。小・中学校は複式学級で先生も大変な状況。学校が統合してなくなる地域もあると思う。そこで、定住対策で地域に来てもらうのはいいが、地域に馴染まない人もいる。市から地域の約束事をちゃんと説明していただきたい。	特に回答なし
4	1班	上浦	【落石について】 家の裏の地区所有の土地から落石があり外壁に当たっていた。修繕するための市の補助金等はあるのか。	急傾斜地崩壊対策事業や、林地等崩壊防止事業などの補助制度がある。補助対象の要件等があるため、個別に御相談いただきたい。
5	1班	上浦	【避難場所について】 市議さんたちは避難地を見て回って、課題の洗い出しをすべきではないか。	各地域で確認している議員はいると思うが、大切な御意見として承る。
6	1班	上浦	【ボランティアの担い手について】 国は自助、共助というが、高齢者ばかりの地域では難しいので、ボランティアの存在が大事だが、ボランティアの数が少ない。こどもへのボランティアについての教育に力を入れていただいて、将来はボランティアで盛り上がる、助け合う地域にならないかと願っている。	特に回答なし
7	1班	上浦	【議会の雰囲気について】 YouTube等で議会を拝見すると、一般市民からすると雰囲気が少し怖いと感じるときがある。出席している議員のみなさんはそのような雰囲気になったときにどう感じられているのか。	実際に中に入ると、皆さん一生懸命されているというのが一番感じるところで、勉強になっている。 議会運営委員会の委員なので、おかしいと思うことは言うようにしているし、いろいろな提案もしている。議会改革推進委員会もあるので、何かあれば意見していきたい。 皆さん、定例会において訴えたい議題を真剣に勉強し、執行部と話し合い、政策提言に結びつけている。討論になるとヒートアップすることもあるが、その人が何を訴えたいのかが重要だと思っている。
8	1班	上浦	【下水道料金について】 車を洗うときなど、側溝に水が流れて下水道は使っていないのに、なぜ下水道料金を取られるのか不思議に感じている。	下水道に流れない水があまりに多いときは、除外メーターを設置すれば、その分は下水道料金が掛からないようにできる。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
9	1班	上浦	【移動支援について】 コミュニティ協議会で移動支援の施策を今後どうするか考えている。何かよい方法があればお聞きしたい。	米水津での実証実験では、運転士のボランティアが集まらず、市の職員や、運転手を雇っていた。 例えば土日の移動支援を充実させたいのか、コミュニティバスを使いやすい時間帯にするのか、地域として問題点をはっきりさせて進めるのがよいのではないかと思う。コミュニティバスの路線や時刻については、3年に1回、公共交通会議で見直すので、そこで担当課に提案するのも手だと思う。ライドシェアについては、別府市が行っているが、運転手が登録制で、タクシー業界の絡みなどもあり、佐伯市はまだ追いついていないと感じている。
10	1班	上浦	【子育て支援について】 子育て支援、大分県1位を目指せないか。大分市は里帰り出産に補助金を出す。明石市はタクシー券や紙おむつの無料配布をしている。	特に回答なし
11	1班	上浦	【不登校等に対する対応について】 いじめにより不登校やひきこもりになったこどもに対して、どのように対応していくのか。	無理に学校に来させないという考え方もある。一番大事なものは、こどもと保護者を孤立させないこと。こどもにあわせた通学の形や、タブレット学習等の新たな学習方法もできているので、そこがしっかり回っていくかどうか議会としても見守っていきたい。
12	1班	上浦	【学校の統廃合について】 学校がなくなると地域は元気がなくなる。経済効率だけでなく地域のために学校を残すことも検討していただきたい。	特に回答なし
13	1班	上浦	【災害時の避難について】 災害時の避難について、停電のときに夜中の田舎道を避難すると、途中で転落する危険性がある。あそこを目指せばよいというポイントだけでも、ソーラー付きの誘導灯などを設置できないか。	以前、市で実施を検討した際に、市内全域で相当な費用がかかることや、個人の土地の問題等でなかなか難しいということがあったが、市防災局としても必要だとは考えているので、御理解いただきたい。
14	1班	青山	【林野火災警報について】 林野火災注意報や警報について、解除というのを聞いたことがない。	地区放送や防災ラジオで流れるので御利用を。
15	1班	青山	【三の丸整備について】 住吉御殿は昔の三の丸の御殿なのだが、以前の形に戻すということは検討できないか。文化会館跡地を一帯で何かすれば佐伯市の魅力になるのではないか。	今、城山全体が国指定の史跡になっており、御殿については元々どのようにあったのかを裏付ける図面等がなければ許可が下りず、市としては難しいと考えている。 また、既存の基礎の撤去や、建物の建設も許可が難しいため、公園にして芝生を植える程度が市の計画の現状である。
16	1班	青山	【建設経済常任委員会について】 2月6日の建設経済常任委員会の意見交換会ではどのような内容が話し合われたのか聞きたい。	林業研究グループから、昭和40年代に植えた杉・ヒノキの伐採後の再造林が課題であるという声をいただいた。そのほか、地域イベントの補助金について現状の規模では集客が難しいことや、東九州自動車道の4車線化の早期実現を望む意見があった。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
17	1班	青山	【撮影許可について】 「人権侵害のない佐伯市に向けて」というところで、二十歳のつどいで写真撮影を担当する方は、後ろの写り込みも含めて全員から撮影やSNS への掲載の同意を得ているのか。	議会だよりの表紙などに写真を使う際は、確認も取るし、写り込みもないように撮っている。民報の取材等については各放送局のコンプライアンスの問題だと思う。今回の条例は、罰則規定はなく、インターネットリテラシーの教育や知識の共有を図ろうという、啓発の意味が強い。市が撮影する分にはおっしゃるとおりその辺の注意が必要なのかなと思う。
18	1班	青山	【子ども・子育て施設実証運営事業について】 旧佐伯児童館の実証運営については、高齢者も対象に含まれるのか。	市の説明では、基本的にはこどもが中心だが、高齢者も来てもいいという話である。実証運営なので、基本的なパターンはいくつか考えているが、状況によって内容が変わることはあり得る。
19	1班	青山	【用水路の修繕】 用水路の劣化が激しく、田んぼへの漏水が増えている。そういったところの修繕等に充てる資金や活動はあるのか。	災害復旧や規模の大きい事業等には、国や県の補助金等がある。一般的に、用水路の所有者は水利組合なので、そこが管理することが基本になっていると思う。
20	1班	青山	【地区要望について】 毎年地区から要望書出しても、なかなか進まない。議員さんから、予算の増額や増員などの案は出せないものなのか。	地区要望については建設経済常任委員会でも大きな問題であり、要望の執行率を上げるよう引き続き働きかけたい。 令和7年度は前年度までと比べて2億円ほど維持補修費を増額している。市も少しずつ要望に応えるための取組はしている。
21	1班	青山	【鳥獣被害対策について】 イノシシの被害が非常に多い。害獣駆除や猟師の育成などの取組は進めてもらっているのか。	業として野菜をつくったりされる方には、市が柵の設置費用を一部補助している。 現状の制度は銃を保持するのが非常に大変で、県・市は免許取得費用の一部助成など取り組んでいるが、資格を取得する人が少ない。県が市を通じて柵の設置費用の補助も行っている。獣被害は個人ではなく地域で守るということで皆さんで話し合うことが必要ではないかと思う。 (令和6年度の有害鳥獣捕獲事業の予算及び捕獲数の実績紹介)
22	1班	青山	【医療体制の充実について】 佐伯市には耳鼻科と皮膚科が少ない。市から誘致できるような要望ができないか。	佐伯市には市立病院がないため、民間や医師会との関係性となるが、個人病院だと商売になるので、佐伯市の現状を考えたときになかなか難しいと感じるが、耳鼻科がすごく多かったり、皮膚科が予約制で受診を断られたりしている状況を目に見ているので、市を通じて医師会に声を届けてもらうよう我々も働きかけたい。
23	1班	青山	【旧青山小学校の利活用について】 青山小学校の建物について、議会で利用方法等について議題に上がっているか。	長野県にあるソーラーパネルの会社が何度かアプローチには来ている。 国の補助金で建設しており、教育施設でない用途に変えようと補助金を返還しなければならないため、何にでも活用できるかという点で難しい。ただ、内容によっては補助金返還しなくても済む場合もあるので、具体的な話が合ったときに行政と話し合いをするということになると思う。
24	1班	青山	【棚野河川敷要望について】 棚野地区について、河川敷がすごい状態になっている。県に何度要望しても市から回ってない等の理由で却下される。県と市、市の議員さんと県の担当者とのコミュニケーションをもう少しできないか。	要望の窓口は、市を通して県にというのが一般的な流れになっている。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
25	1班	佐伯東	【プレミアム商品券について】 プレミアム商品券は、A券が8枚で、B券はたった5枚。これは誰が何のために決めたのか。印刷代もかかるし、現金のほうがいい。今度するときはB券を8枚にしてほしい。	過去の検証を踏まえ、執行部が割合を決めている。 地元のお店を活性化するためのものということでA券の割合が多くなっている。
26	1班	佐伯東	【大分都市広域圏について】 大分都市広域圏について、ごみ処理場の問題は怎么样了。	エコセンター番匠は津波浸水想定地域になっていることから、大分市の新環境センターへの参加について協議している。ただ、当該施設は本市の燃えるごみを焼却処理するだけの能力がないと聞いており、ごみ処理についてはまだ広域圏には加入していない。
27	1班	佐伯東	【議会モニターについて】 建設経済常任委員会の議会モニターとの意見交換会と、それとは別に一般モニターとの意見交換会とあるが、これはどういうことか。また、どのような意見が出たか教えてほしい。	建設経済でいうと、商工振興、農業、観光など、担当している分野があり、その関係団体を集めた議会モニターと、それとは別に一般の個人の議会モニターとの2種類があるため、それぞれ意見交換会を開催している。 一般モニターからは、もっとわかりやすく市民に情報を伝えてほしい、議員に学校や地元企業を回してほしいなどの御意見をいただいた。 建設経済の議会モニターからは、林業振興について、昭和40年代の拡大造林地の伐採状況や、再造林における防災環境面への配慮等の提言と御意見をいただき、森林環境増進税をどう利用できるか考えていくという意見を出させていただいた。 また、キャッシュレス決済導入時の高齢者への操作支援の必要性、イベント支援、東九州自動車道の4車線化、建設発生土の受入先の確保などに関して意見交換を行った。
28	1班	佐伯東	【三の丸整備について】 三の丸の整備について、旧三余館側の駐車場にある石垣が2カ所大きく膨らんでいて危ない雰囲気になっている。また、櫓門に向かって右側の石垣に比べて見栄えが悪い。	あれは石垣の崩壊を防ぐために少しせり出した巾木石垣というもの。文化会館の解体後に市が石垣をすべてチェックし、安全性に問題がないことを確認している。
29	1班	佐伯東	【政策研究会の活動について】 地域産品による乾杯条例というのは、お店が活性化するために、最初の1杯は地域のお酒で乾杯することを推奨していくのか。	まだこれは案の段階で中身は固まっていないが、基本的にはおっしゃるとおり。
30	1班	佐伯東	【民生委員の不足について】 見守り条例とあるが、民生委員の定数不足になっており、区長会や行政で頑張っていく必要があるが、議員の皆さんにも応援していただきたい。	貴重な御意見として承る。なお、先日の予算委員会で執行部から、民生委員に支給する費用を今後少し上げるような考え方の説明を受けた。
31	1班	佐伯東	【行政視察について】 行政視察について、毎年行かなくてもいいのではないかな。悪く言えば、市議会議員の修学旅行的なものじゃないかと思っている。視察に行くことで市民にどれだけのメリットがあるのか。年間、経費をいくら使っているのか。	個人の意見になるが、市内に閉じこもってよそを見ない議員ばかりになってしまったときに、それはまた悪い影響が出るんじゃないかと思う。各地域を見て、説明を受けることも大事だし、肌で感じる部分、移動も含めて勉強なと思っている。よそを知ることは非常に大事だし、遊びに行っているという思いは全然ないので信頼していただきたい。私たち議員も市民の皆さんに返していかなければならないと思う。 なお、経費は年間約800万円である。 視察はどこに行くかではなく、その時々の方の問題等からどういうテーマで行くかを相当考えて行く。また、視察に行ったら必ず市民に向けて報告をすると同時に、執行部に申し入れもする。決して無駄に行っているわけではない。少しでもいい市政になってもらいたいという思いで行っているのでも御理解いただきたい。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
32	1班	佐伯東	【学校林について】 佐伯市学校林基金条例の制定について、学校林の維持管理は行政が負担して、収益は管轄の学校に割当てるのではおかしいと思うので、基金をまとめて市内の学校にうまく割り当ててほしい。	もともと学校林の収益はその学校のために使ってくださいという条例があるのに、市の大きな財布に入っていたのはおかしいというのが監査の指摘である。当時、学校林に関わった人たちの思いからすれば、学校林で上がった収益は市内に配分するのではなく、その学校のために使うというのが条例の趣旨になる。
33	1班	佐伯東	【佐伯市の職員数について】 よそと比べてときに佐伯市は職員数が多い。今年も採用数が多く、予算が人件費にたくさん回っている。人口が減っていて、債務は残って、負担が多くなるのに、どうしてこんなに採用したのか。	若い職員が少ない現状で、先々を考えたときに一定の採用をしておかないと回らなくなるリスクもある中で、どうやって採用を抑えていけるかというのは議会としても質問等している。佐伯市行政経営推進プランに基づいて行革を進めている。類似団体と比べて職員数が多いのではとの御指摘だが、佐伯市は九州一広く、どうしても行政効率率が落ちるということを踏まえて、行政サービスを維持できるよう効率化していくべきだと考えている。 ここ数年、退職者が物すごく多い。特に40代、50代ははじめの中堅どころが少ない。市もそれでは困るので若い人を採用しようとしているが、採用しても二、三年で辞めていく。そういう時代なので、以前とは違うということを御理解いただきたい。また、地方分権で国の仕事が市に持ってこられたり、働き方改革で時間が決められている等の状況もある。
34	1班	佐伯東	【美土里橋について】 美土里橋の架替工事について、当初の予定より時間がかかって、すごくみんな困っている。担当課に問い合わせても事後報告もない。いつ、どういう橋ができるのかちゃんと説明してほしい。	完成の予定時期、予想図等の概要について、佐伯東及び渡町台地域コミュニティセンターに御報告したい。
35	1班	佐伯東	【東九州道4車線化について】 東九州道4車線化について国に要望しているのは佐伯インターチェンジまでの分か。それ以南の新直轄方式の部分は関係ないのか。4車線化の要望を出すと同時に、佐伯市内の4つのインターチェンジに関する自治体としての取組も強化してほしい。せっかく造ったのに便益機能が生かせていない。	現状、そこについて要望を出したことはないが、委員会内で少し協議を始めたところである。インターチェンジの件も含めて委員会で協議していきたい。
36	1班	佐伯東	【橋の工事について】 今後、橋の工事は急いでほしい。また、完成図や、工期の理由を明確にしてほしい。建設経済常任委員会から意見を出してほしい。	出水期は工事ができないので冬場中心の工事になること、作業員の休みも取る必要があること等から時間がかかるというのはある。ただ、おっしゃるとおり、時間がかからないよう執行部には伝えたい。
37	1班	佐伯東	【振興計画について】 佐伯市がうまく活性化してない理由は、振興計画がないからだと思っている。中小企業活性化基本条例というのがあって、それを具現化するために、商工業の振興計画をつくるということをやらずに条例を決めたのにもかかわらず、農業、林業、水産業は振興計画があるのに、商業と工業の振興計画がない。建設経済で考えていただきたい。	特に回答なし
38	2班	大入島	【林野火災警報について】 林野火災警報で今年は伝統行事のトンドが開催できなかった。今後のこの条例がある限り開催が難しいのか。	消防庁からの通知で全国的に条例化しているので難しい。警報が出ているときは控えていただきたい。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
39	2班	大入島	【三の丸整備について】 三の丸の整備について、ほかの県からも城山に遊びに来てもらえるような公園、図書館、キッチンカーなど食もあるような憩いの場になることを希望する。	現状は基礎くいのある文化会館の跡地に立入り禁止措置をとっている。旧佐伯城跡の排水施設等の遺構を保存しており、そこに建物を建てることは、現状難しい部分がある。また、令和11年度までの4か年で三の丸に特化して三の丸整備事業を実施することになっている。
40	2班	大入島	【草刈りについて】 大入島小学校が草がたくさん生えていて、何とかしていただきたい。また、白浜については舗装していないので、いずれしていただきたい。	草刈りは大入島に限らずこの地域でも同じような問題がある。地区でもできないことは、地区要望という形で上げていただければ。
41	2班	大入島	【歓迎の看板について】 例えば、駅や高速のインターやフェリーとかその定期船の入り口に、佐伯を訪れる人の期待度が高まるような、ようこそ佐伯とかおかえりなさいとかそういった仕掛けや環境整備をしてほしい。	私たちもそういうところは執行部にいろいろ提案していきたいと思うので、御意見ありがとうございます。
42	2班	大入島	【葛港市場について】 港の魚市場がなくなるというふうな話を時々聞くんですが、今後存続は可能なんですか。	葛港の市場の関係は市としては、今廃止の方向で動いてるっていうのを聞いている。ただ関係者では存続の意見も出ている。今後、どういう形になるかというのは実際まだ正式には決まっていない。
43	2班	大入島	【自衛艦の入港について】 以前は、佐伯の港に海上自衛隊の自衛艦が定期的に入って、特に新町は大変にぎわっていたが、なぜ佐伯に停泊しなくなったのか、何か理由はあるのか。毎年、議長も呉の地方総監に表敬訪問を行っている。そのときに、また佐伯市に寄港していただけるよう議会のほうからお願いしていただきたい。	1回調べてみたいと思います。
44	2班	大入島	【佐伯駅周辺の開発について】 佐伯駅前周辺は寂れていて食べる場所もないため、よい方向で開発をしてほしい。	佐伯駅のことはやっぱり民間ですので、なかなかこうやってくれっていうのは難しいが御意見を伝えることは可能と思う。
45	2班	本匠西	【林野火災警報について】 棕ノ木台の水辺の楽校という施設でバーベキュー等の火の後始末が気にかかる。消し忘れや、完全焼却できないと山がすぐ近くにあるため、飛び火が非常に心配。	ルールは公共施設ごとで決められている。警報が出ても、バーベキューは火の粉が飛び散らないという前提で基本的に禁止の対象ではない。
46	2班	本匠西	【大分都市広域圏について】 大分都市広域圏は、かなり漠然とした方向性で具体的な部分がよく分からない。広域圏に加入をした場合としない場合は、何がどう違うのか教えてほしい。	都市機能の集積・強化や地域経済の活性化などのメリット、今後はごみ処理場の共同利用もできたら。今は既に、公共施設の相互利用や消防の通報システムの利用などができるようになっている。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
47	2班	本匠西	【政策研究会の活動について】 議員政策研究会で条例つくって一体何を指そうとしているのか。	活動の中で市民の困っている点を拾い上げて、それを解決できるよう根拠となる執行部を動かすための条例を議員の力でつくるという趣旨。
48	2班	本匠西	【誹謗中傷等防止条例について】 インターネット上の誹謗中傷等防止に関する条例について、もし嫌な思いをして市に電話したときに、みんなつながる課はどういうアドバイスをしてくれるのか。	市の取組は大きく2つ、誹謗中傷をしないようにSNSの使い方の講習会等を行うことと、受けた側のために相談窓口を設けるというものがある。 誹謗中傷を受けて相談するとその後の道筋をつけてくれる一次的な相談窓口。詳細は市報5月号12ページを御覧ください。
49	2班	本匠西	【三の丸整備について】 佐伯文化会館の跡地は避難場所になっているが街灯もない。街灯をつくってほしいとか、トイレつくってほしいとか、区長会からも言うが、文化財になった場合そういう建物は一切できないと聞いたが、今後どういう形で整備を考えているのか。	これから11年度までの4か年で決定して、早期に利活用を行っていくということになっている。トイレや照明、避難場所がどうなるかこのは計画の中から織り込まれていくと思う。今後そういった御意見に基づいて三の丸の利活用進めていくということになる。
50	2班	本匠西	【三の丸整備について】 史跡佐伯城跡三の丸整備事業を実施することについて、三の丸にふさわしい事業を実施するような方向で事業を考えているのか、それとも市民の憩いの場として考えているのか。	保存活用計画に基づいて城山全般を史跡として捉え、その中で三の丸の史跡価値を運営・管理、そのほかを施設として見ていくということになる。ただ、その中で市民が憩いの場としてどう触れあえるか、この4年間で利活用の方針を見いだしていく。
51	2班	本匠西	【大分都市広域圏について】 大分都市広域圏に途中加入でごみの施設の参入が今後できるのか。	タイミング的に後手に回っているので、現状だと戸次のごみ焼却処理場に入るのは厳しいが、人口が減ってキャパに空きが出てきたら可能性がある状況。
52	2班	本匠西	【企業誘致について】 アシストメイトという会社が進出をされたきっかけが分かたら教えたい。今後、佐伯市が企業の誘致をしていく具体的な方策とか動きがありましたら教えていただきたい。	県に他市も含め、サテライトオフィスの登録がされていて、それを見て、企業が申し込んでくる。そこに申込みが来たものを、佐伯市が契約していくという形になる。 議会でも特別委員会を設置し、立地に適した場所や業種等の調査研究を進めている。
53	2班	本匠西	【認知症カフェについて】 認知症カフェは佐伯市にもあるのか。	佐伯市では、ごちゃまぜカフェさいき、長門オレンジカフェ、この2か所。認知症カフェは認知症の方やその御家族と地域住民、専門職等の地域の誰もが気軽に集い語り合うことのできる施設となっている。
54	2班	本匠西	【県道の改良工事について】 主要地方道について、ここ二、三年非常に改良工事の進捗率が落ちている。これについては今後どうなのか、県への働きかけを含めて教えていただきたい。	用地が1個詰まったらそこで2年も3年も止まっている状況。県の事業で詳しいことが分らないが、今年は佐伯市で期成会がある予定、力いっぱい頑張ってる。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
55	2班	本匠西	【小半鍾乳洞について】 小半鍾乳洞の再開について。	一般質問で昨年から4回続けて質問を行った。 3月の答弁の中で、初めて内閣府の交付金が該当するんじゃないかという答弁があった。小半の人道トンネルだけでは交付金は厳しいが、小半周辺の開発含めて対象になるのではないかな。
56	2班	本匠西	【河川のしゅんせつについて】 本匠地区の河川のしゅんせつはどうなっているのか。	県と協力しながらやっていく必要があるため、委員会としても地元県議との意見交換会を実施し、情報共有しながら働きかけを行っていく。 河川のしゅんせつは残土の処理でなかなか進まない状況もある、地域とも協力しながら少しでも早く進めていけるように委員会としてもやっていく。
57	2班	本匠西	【地区要望について】 要望に対する市の対応が遅い。毎年の同じ要望を出さなければならないというような状況。	昨年度から、建設経済常任委員会所管するところの地区要望に対する事業効果、どこまで進んでいるのか調査している段階。しっかりと、地区の要望が少しでも達成できるように私らも動いていきたい。
58	2班	本匠西	【山王公園の利用について】 弥生の山王公園の芝生のところで禁止されているのに車を乗り入れてキャンプをしている。ただ、芝生も本当にきれいだからみんな利用したい。禁止の理由も分からないので、それをもし分かっていたら教えてもらいたい。	確認して、お知らせしたい。
59	2班	本匠西	【運動推進員について】 運動推進員の制度を市は突然終わらせた。理由を市に聞いたけど本当に何も説明はなかった。市はもうこれからそういった人を育てる話は全くないのか。	運動推進員の普及事業は今後行わない方向になっているが、認知症サポーターと介護サポーターの育成事業は今のところずっと続いている。認知症サポーターと介護サポーターの方の今後の活躍の岐路をどこに見るかっていうことについては、今後担当課と十分協議したいと思います。
60	2班	宇目	【三の丸整備について】 三の丸の整備事業の具体的にどのような内容か。	佐伯城跡保存活用計画に基づいて管理の体制等々をこの4年の中で計画実行に移していくということで、全体像というのははっきりまだ見えてない状態。
61	2班	宇目	【更生のための就労支援について】 再犯防止のため、行政と保護観察所と就労支援機構と連携をして出所した方の働く場を確保したい。大分県就労支援機構で、また市や議会に要望に行く。	また要望書を見ながら、吟味してみたいというふうに思っております。検討しながらまた行政側とも話ができるというふうに思っている。
62	2班	宇目	【臨時会での附帯決議について】 臨時会の附帯決議の討論で賛成議員が出たのに反対議員が出て討論しなかったことについて、どのようにとらえているのか。弱者を救うための附帯決議に対して反対した理由と、反対討論を出さなかった理由。	提出された内容は理解ができるが、附帯決議とは今回可決したものに対しての条件という前提に反するものであったから。また、ばら売りをすると事務費が余計にかかる可能性がある。朝提出をされたものを短い時間で意見をまとめるというのは難しかった。 議会の運営上は、反対討論が出れば賛成討論するということは理解しているが、今回は、討論せずそれぞれ自己判断でいくことにした。ただ、会派としては全員意見が一致していた。今後は、どんなに短い文言であろうと、賛成討論、反対討論をできるようにやっていきたい。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
63	2班	宇目	【河床掘削について】 河床掘削をお願いしてきたが、狭い範囲2か所やっただけで、河床掘削してもすぐ1年で駄目になる。どんどん河床掘削をやってほしい。	残土の行き場がなく、河床掘削できない状況。埋立地の候補や地域の意見集約などの協力していただければ。委員会でも県議と連携して発注が進むよう要望する。
64	2班	宇目	【外国人労働者について】 佐伯市職員で外国人は採用しているのか。佐伯市に日本国籍を有しない外国人労働者が何人いるのか、国別、男女の別とかその辺の把握というか統計は取っているのか。	1,000人は切ってるが毎年増えていっている。佐伯市では把握している。事業所で働き手がいないため外国人労働者が増えている、頼らざるを得ない。国際交流員でベトナムとオーストラリアの方、地域おこし協力隊で外国人の方がイベント等で業務にあたっている。
65	2班	宇目	【買物支援について】 特に旧南郡地域では、もう日常の買物にすら地域の人は困っている。市が強力にバックアップして、強力な補助金を出して開店してもらう、あるいは市が直営などの方向を考えないともう地域に住めなくなっている。 政策研究会では本当に実効性のある、スーパーや買物について市が強力にバックアップできるようにそういう施策を盛り込んでいただきたい。	ぜひともこの条例をつくるに当たって、みんなで汗をかきながら実効性のあるものがつくれるよう頑張っていく。
66	2班	宇目	【議会だよりの内容について】 附帯決議の件は非常に重要なので、議案の趣旨と附帯決議案のおおむねの要旨、各議員の賛成反対と理由というのを議会だよりで伝えて議論してもらいたい。	議会だより反対討論、賛成討論の名前を明記しないこととしている。 あくまでも大切なのは意見であって、誰が言ったとかではない。全員の意見を載せるのは、スペースも含めてちょっと難しい。一応、広報委員会で諮る検討はできる。
67	3班	西上浦	【新環境センターへの加入について】 大分都市広域圏への加入が遅かったが、今回の加入できたことは大変良いことだと思う。この広域圏で、ごみ処理施設を建設中である。佐伯市にとっての大きな懸案事項は、エコセンター番匠も年間10億から11億円の修理費を掛けながら運営している状況だと思う。今後どのような方向に目指していきたいと考えているのか。余裕があるところに佐伯市を加えてもらえる方法を探してほしい。	来年の10月に新環境センターは事業を開始予定で、それまでになんとかできたらよいと思うが、非常に難しいと感じる。現状では、この先は分からないがなんとか良い方向に持っていきたい。
68	3班	西上浦	【新環境センターへの加入について】 戸次にできるとエコセンター番匠がなくなるのか。ごみの受入れ等はどうなるのか。	そこまではちょっと分からないが、住民が迷惑が掛からない形でどこかに集積して運ぶなど生活に支障が出ない形で対応するべきと思う。
69	3班	西上浦	【旧佐伯児童館の活用について】 旧佐伯児童館跡地をどのように活用していく計画があるのか。その進捗状況について教えてほしい。	旧佐伯児童館跡地を「こどもの居場所」として活用し、アンケートで確認されたニーズに応えるため、専門スタッフ常駐で土日・長期休暇も利用可能な施設を約1年間実証運営する計画である。
70	3班	西上浦	【三浦造船佐伯図書館について】 三浦造船佐伯図書館については、建て替えなどの話が進んでいたりするのか。よかったら教えてほしい。	図書館の新築などの話や動きはありません。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
71	3班	西上浦	【地域通貨の導入について】 本市独自の地域通貨は導入しないとのことだが、民間キャッシュレス決済を活用して地域経済の活性化を図るとともに、利用促進については、スポット的なプレミアムプレミアム商品券事業を実施しと説明文にある。利用促進とスポット的な意味の説明をしてほしい。	市が恒常的に独自の財源でプレミアム商品券事業を実施するのは困難なため、国・県が行う物価高対策などのスポット的なプレミアム商品券事業を活用し、当初検討した市独自のデジタル地域通貨は見送る。一方で、今後のプレミアム券発行事業をキャッシュレスに移行させることで地域通貨的な経済浮揚を図る、という意味である。
72	3班	西上浦	【充電器施設設置とキャンピングカーの受入れについて】 市役所駐車場と埴干公民館前広場に充電器施設とキャンピングカー受入れ枠を整備し、予約・決済システムや民間連携を活用して観光・地域活性化と防災時の電源確保を両立する事業ができればと要望する。	議会として受け止めさせていただく。
73	3班	西上浦	【プレミアム商品券事業について】 プレミアム商品券事業については、実施の趣旨・目的を明確に示すとともに、総額9億7,500万円のうち佐伯市の実質負担額(概算)を教えてください。	物価高騰対応でこれに影響を受けている市民、事業者を支援するため。プレミアム分が2億2,500万円。発行総額は、9億7,500万円、市の負担額は1億2,050万円である。
74	3班	西上浦	【プレミアム商品券事業について】 税金が原資になってプレミアム分を付けているので、佐伯市では過去にプレミアム券の販売で大量の販売が問題になった件がある。議会としてそういうことがないように確認しているということでしょうか。	大量購入とかそういうことは聞いていない。
75	3班	西上浦	【臨時会での附帯決議について】 5月1日の臨時会での附帯決議案(商品券の小口化や低所得者向けの販売工夫)を議会が否決した理由をお教えてください。	私は附帯決議に反対しましたが、その理由は1,000円、2,000円券にすると印刷や換金などの手数料や事業者負担が増える懸念があり、また低額化を求める市民の需要が十分に確認できなかったためである。今回の否決は、各議員が調査・意見表明した上での多数決の結果であると思う。
76	3班	西上浦	【防災士について】 防災士については、試験合格までの支援はあるものの防災士会の運営は、年間会費1,000円で運営されている。印刷物などに市から補助はもらっているがもう少し補助金を出すようにお願いしたい。	結果はどうなるか分からないが、執行部に気持ちは伝えたい。
77	3班	西上浦	【臨時会での附帯決議について】 附帯決議の趣旨と臨時会での議論の不十分さを問題視し、議会としての方針と判断経緯を明確に示すために各議員の賛否とその理由を議会報等で公表して市民へ周知を求めます。	先ほど言われたことは大変難しい部分だと思う。安易に受けられない部分であるので、受け止めて、議会報への掲載などの対応は広報委員長や議長と協議の上、方向性を見つけたい。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
78	3班	西上浦	【水産業への支援について】 飼料・燃料の高騰や流通のしがらみ・規制で後継者が育たず離業が増える恐れがあるため、市は養殖・漁業者の意見を収集して補助制度や規制見直し、販路拡大支援などの対策を検討・実施し、地域の水産業を守り育てるべきと考える。	いただいた意見を執行部に問い合わせてみたい。
79	3班	米水津	【議会報告会について】 市議会の報告会で扱われる専門的な内容が一般市民にとって理解しづらい。わかりやすく参加しやすい仕組みの改善が必要ではないか。さらに米水津地区に関係するような話をすれば関心を持てるのではないか。	議会だよりを一軒一軒の各家庭に配布している。本日の報告会でわかりにくい所の御意見をいただきながら、ステップアップをしていきたい。また、今後は地域課題も取り込みながら、会議を進めていきたい。
80	3班	米水津	【議会報告会について】 議会の報告会は、ケーブルテレビを見て分かっている。日々いろいろなことが変化している。これから先のことを考えて米水津の住民と討論会をやしてほしい。さらに地元議員が来ていないのは、おかしいのではないか。	言われた討論会ができればよいが、今日いただいた意見は、全議員に共有するので、皆さんの意見があったらいただきたい。市議会議員として全ての地区を回るという形にしているので、御理解をいただきたい。
81	3班	米水津	【宮野浦のカーブミラーについて】 宮野浦の地区でカーブミラーが台風で壊れているところがある。7月まで待ってほしいということだが、すぐに対応してほしい。旧佐伯市以外のところのそういう不満があるのではないかと思う。	執行部の執行権の範囲に入るので、お伝えする。
82	3班	米水津	【第二浦代トンネルについて】 第二浦代トンネル(仮称)の計画が進んでいるが木立側では、どう感じているのか。早く推進してほしい。	土地の問題はあるかもしれないが、反対などの話は聞いていない。 今日訪問する車の道中でトンネルを通ったが早く取り組みたいといけなと感じた。
83	3班	木立	【三の丸整備について】 三の丸の整備事業が始まるとあるが具体的にどのような整備をするのか。	現在更地になっている場所に芝生を敷き、三の丸の歴史を記した案内を設置して、市民が憩える空間を整備する計画と聞いている。
84	3班	木立	【三の丸整備について】 三の丸整備については、市民向けにインターネットアンケートが実施され、私自身も関心を持って真剣に回答した。そこで、そのアンケートに何人の市民が回答し、その結果をどのように分析・反映して整備の方向性が決定されたのか。	私たちにその内容についての報告はない。アンケートを実施した以上、その結果については、市民にも分かりやすく、また議会に対しても提示していただきたいということをお伝えしたい。
85	3班	木立	【林野火災警報について】 林野火災警報発令中の対応について伺う。本年1月、大入島トンド火まつりは中止となった一方で、同時期に新女島や市内の一部地域ではトンド行事が実施されていた。中止と実施の判断が分かれた基準は何だったのか。また、その判断は消防によるものなのか、市としての判断なのか伺う。	総務常任委員会や一般質問でも議論したが、注意報は「火の使用を控えてください」という努力義務であり、罰則はない。一方、警報の場合は30万円の罰金などが伴う。大入島のトンド火まつりについては、消防が中止を命じたのではなく、气象台からの情報を基に「現在このような状況です」と伝えた上で、最終的には地区や主催者が判断されたものと伺っている。 また、佐伯市は観測地点が3か所あるため、地域によって注意報・警報の状況が異なる場合があり、その日の発令状況は消防本部が朝8時に公表しているとのことである。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
86	3班	木立	【野焼きについて】 地区で2月に田んぼの畦畔や土手の草を焼くことを毎年するのだが、今年は警報か注意報が出ていたのか知らないが中止になった。今年度の稲作にすごく影響がある。	専門的なことは答弁できにくいですが、お聞きしたことを持ち帰って、執行部に伝えていきたい。
87	3班	木立	【学校統廃合について】 小・中学校の今後の統合は、財政難によるものなのか。それとも適正な教育規模にするためにするのか。予算が足りない部分は政府から交付してもらう形で今の学校経営を維持してもらいたい。中1プロブレムは小学校から中学校の橋渡しのカリキュラムを組むことで解決できる。	学校の統合の話は、具体的には聞いていない。財政難ということはない。ただ今の状況を見ると令和6年度、佐伯市で生まれたこどもの数は、約230人。こどもさんにとっても自分の好きなクラブ活動などができないという形の中で再編も必要かなという話は聞く。
88	3班	木立	【排水ポンプの電気代について】 大野西、須留木地区の田んぼ等が水浸しになって、道路が通行できなくなる状態になる。この排水ポンプの電気代の負担は地区ではなく、耕作者が負担する。そのときに市と県にお願いをして、電気代の負担の半分を市が負担することで話がつき2年後に監査で市の予算がなくなった。須留木地区の代表者が納得したので言えなかった。	この件については、当時監査で市全体の事業について補助金監査を行っていた。監査の立場としては、公正公平な目で見たとときに、やはり補助金を出す以上は、きちんとした補助金要綱を設置しようという指摘をさせていただきまして、そこはもう監査がそれをやめるとかやれとかいう権限はありません。やはりきちんと説明責任を果たせるルールを作った上で、補助金を支給してくださいという指摘をさせていただきまして、そこは御理解をいただきたい。
89	3班	木立	【鳥獣被害対策について】 鳥獣柵などを作って支援をしてもらっているが、イノシシ、シカの被害が減らない。特区を造るなどをして実験的に犬の放し飼いをしてもらえれば被害が減るのではないかと思っている。急には無理な話だと思うが、どこかで実験的なことをやってみようか本気で考えていただきたい。	できるかどうか分からないが、そういった提案、意見があったということを伝えたいと思う。
90	3班	木立	【ふるさと住民登録制度について】 前石破政権の肝いり事業として、「ふるさと住民登録制度」、いわゆる第2の住民票制度と言われる事業がある。今どのような状況になっていて少子高齢化が進む佐伯市としては、どのような期待感があるのか。	結論から言うと佐伯市としては、具体的に何かを示せる段階ではない。私が一般質問をしたが、執行部からは、大分県の中でも先行事例が少しずつ出ているので、そちらの状況を見ながら、どのように進めて行くかを考えていきたいとの答弁があった。
91	3班	木立	【空き家について】 長島とか野岡とか建てられた家もどんどん今から空き家になっていく。息子・孫世代も新しい家を建てて古い家はごみになる。それを何とかして止めないと空き家が増えて景観が悪くなる。火事や犯罪も起きるかもしれない。さらにまちも暗くなると思うので、有効にリフォームできる施策を推し進める考えはないか。	空き家バンクに登録して契約が成立した場合のリフォーム補助金はあるが、現在の空き家をリフォームして販売するための補助金はない。旧町村部でもすごい勢いで空き家が増えているのが現状である。こういったことも踏まえて執行部に提言をしたい。
92	3班	木立	【ジョブインターンについて】 若者の話が出たが、大分市や別府市には大学がある。佐伯市にも中小企業がたくさんあると思うが、ジョブインターンとして大学3年生の夏休みの時に一定期間働いてもらって、企業や佐伯市を知ってもらう。就業の機会をこちらから積極的に作りに行くような取組をしたことがあるのか。	そういったことは取り組んだことがない。以前に特別委員会の取組として水産大学校等の誘致の取組をしたことがあるが、生徒の数の減少などで実現が厳しかった。今後ジョブインターンは、取り組む必要があると思う。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
93	3班	木立	【空き家について】 空き家バンクの話は、市から積極的に動いているのか。地域から話を受けているのか。見ていたら待っている感じがする。木立も空き家が増えているので、不審火なども怖いし、空き家を壊すのにも100万円から200万円のお金がかかる。どういふうにしたらいいかを真剣に考えてほしい。	空き家バンクの活用や移住で佐伯市に来てもらう政策が少し遅れている部分がある。提言をいただいたのでしっかりと伝えたい。
94	3班	木立	【木立地域について】 よそから来た人で木立が良いと言って、空き家をリフォームをして移住している友人がいる。可能性がある地域だと思う。	御意見をありがとうございます。
95	3班	木立	【茶屋ヶ鼻橋について】 佐伯大橋の架け替えの話が出ているが、茶屋ヶ鼻橋は、アクセス道路として、鶴見、米水津、木立を含めて迂回路はあるが重要な幹線である。議会としてどのような方向性で取り組んでいるのか。県に要望を提出しているのか、途中経過を含めてお知らせいただきたい。	県が主体となって取り組んでいるが、茶屋ヶ鼻橋は、災害時に非常にライフラインになる重要な橋で老朽化も進んでいる。各事業がありどれを優先に取り組むかという難しい問題もある。番匠川河口橋などについては、各事業期成会等で要望している。しかし、茶屋ヶ鼻橋については、また要望書の提出までには至っていない。
96	3班	木立	【佐伯市の今後について】 これが佐伯市だというのがほしい。10年、20年先を見据えて今から用意していかないといけないことを考えてほしい。市にいろいろ言っても何月何日までにと言わないと回答が返ってこない。佐伯市自体がもうちょっと頑張るように発破をかけてほしい。	市長を含めて職員にも伝えたいと思う。
97	3班	木立	【学校統廃合について】 市内小学校の統廃合のアンケートはしているのか。まだ来ていないが。	保護者、PTAの範囲でアンケートは、実施されると思う。何らかの周知機会があれば確認したいと思っている。